

# インターネットガバナンスの今後

日本インターネットガバナンスフォーラム2024  
(Day 2 企画セッション)

# 登壇者

- モデレーター：前村 昌紀（一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)）
- パネリスト（敬称略）：
  - 飯田 陽一（総務省）
  - 加藤 幹之（一般財団法人国際経済連携推進センター(CFIEC)）
  - 小畑至弘（IoT-EX株式会社）
  - 上村 圭介（大東文化大学）
  - 立石 聡明（一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)）
  - 高松 百合（株式会社日本レジストリサービス）
  - ルーク コリー（慶應義塾大学）

# 他セッションとの棲み分け

- 本セッション：「インターネットガバナンス」と言われる活動や現象が今後どうなっていくのか
- （本日、ひとつ前の会津さんセッション）アジアと日本のインターネットガバナンスのこれから～過去に学び未来を考える～
  - 本セッションではアジア、日本に特化した内容は扱いません
- （Day 3、加藤さんセッション）マルチステーク・ホルダー・モデルの成立条件を考える～GDC、WSIS+20以降のインターネット・ガバナンス～
  - 活動や現象も取り扱うかもしれませんが、マルチステークホルダーモデル自体を振り返り、あり方を考えます

# 2024年を振り返る

- NETmundial+10(4月)
- WSISフォーラム(5月)
- 未来サミットにおける「未来に関する協定」の採択(9月)
  - =グローバルデジタルコンパクト(GDC)の採択

# NETmundial+10

- 2014年に開催されたNETmundialの10周年のタイミングで開催
  - 開催地：ブラジル・サンパウロ
  - NETmundialの成果文書「サンパウロNETmundialマルチステークホルダー声明」が現在も有効か確認の上、必要であれば変更・補足
- 成果文書：NETmundial+10マルチステークホルダー声明
  - インターネットガバナンスとデジタル政策プロセスの課題
  - インターネットガバナンスとデジタル政策プロセスの原則
  - マルチステークホルダー・アプローチの適用と多国間プロセスの改善
    - マルチステークホルダーによる合意形成と意思決定のためのガイドライン（サンパウロ・マルチステークホルダー・ガイドライン）
  - 進行中のプロセスへの提言
    - IGF
    - GDC
    - WSIS+20レビュー

# グローバルデジタルコンパクト(GDC)

- デジタル協力に関するハイレベルパネル設立(2018年7月)
- デジタル協力に関するハイレベルパネル報告書(2019年6月)
- デジタル協力へのロードマップ(2020年6月)
- オプションペーパー「グローバルなデジタル協力の未来に関する選択肢」(2020年9月)
- 我々の共通課題(Our Common Agenda)(2021年9月)
  - この中に記載された7項目からなる盟約として導入
    - すべての学校を含むすべての人々をインターネットに接続する
    - インターネットの分断を回避する
    - データを保護する
    - 人権をオンライン上に適用する
    - 差別および誤解を招くコンテンツに関する説明責任基準を導入する
    - 人工知能に関する規制を推進する
    - グローバル公共財としてのデジタルコモンズ（共有地）
- 我々の共通課題Policy Brief 5 (2023年5月)
- GDCゼロドラフト(2024年4月)
- GDC採択(2024年9月)

# 未来サミット／未来に関する協定

- 未来サミット(2024年9月22日～23日開催)
  - 国連本部で国連総会の一部として開催
  - 冒頭で成果文書を採択
  - 岸田首相（当時）を含む各国首脳がスピーチ
- 成果文書：未来に関する協定／未来のための約束(Pact for the Future)
  - 持続可能な開発と開発のための資金調達
  - 国際平和と安全保障
  - 科学、技術、イノベーションとデジタル協力→付属書としてGDCを含む
  - 若者と未来の世代→付属書として「未来の世代に関する宣言 (Declaration on Future Generations)」を含む
  - グローバルガバナンスの変革

# WSIS+20

- 2003年および2005年に世界情報社会サミット(WSIS)が開催
  - 国連が開催、国際電気通信連合(ITU)が主導的役割
  - 2003年ジュネーブ会合の成果文書：「基本宣言」「行動計画」
  - 2005年チュニス会合の成果文書：「チュニスコミットメント」「チュニスアジェンダ」
    - チュニスアジェンダ記載のインターネットガバナンスに関する重要点
      - マルチステークホルダー原則(37項)
      - 拡大協力／協力強化(Enhanced Cooperation)(69, 70, 71項)
      - インターネットガバナンスフォーラム(IGF)の開催(72, 73, 77項)
- WSIS 10周年評価(WSIS+10 Review)
  - 国連総会決議A/RES/70/125
  - IGFの開催期限を10年延長(2025年まで)
  - デジタル格差の解消
  - 財政メカニズム
  - フォローアップとモニタリング：年次実施状況報告を開発のための科学技術委員会(CSTD)に求めた
- WSIS+10と同様、WSIS 20周年評価(WSIS+20)がIGFの開催期限延長を決定すると思われる